



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東
コード番号 2150 URL <https://www.carenet.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）藤井 勝博
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役CFO （氏名）藤井 寛治 TEL 03-5214-5800
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	2,794	4.8	641	17.7	547	△2.9	428	37.8
2024年12月期第1四半期	2,667	5.6	545	△23.7	563	△21.2	310	△32.1

（注）包括利益 2025年12月期第1四半期 422百万円（19.0％） 2024年12月期第1四半期 354百万円（△21.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	9.91	—
2024年12月期第1四半期	6.98	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期第1四半期	13,286	10,913	80.6	249.77
2024年12月期	14,113	11,329	79.0	256.96

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 10,715百万円 2024年12月期 11,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	12,500	11.8	2,500	5.9	2,370	0.1	1,500	31.6	33.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料７ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期１Ｑ	46,872,000株	2024年12月期	46,872,000株
2025年12月期１Ｑ	3,972,702株	2024年12月期	3,505,802株
2025年12月期１Ｑ	43,234,325株	2024年12月期１Ｑ	44,551,298株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 「株式給付信託（BBT）」及び「株式給付信託（J-ESOP）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調となっております。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、依然として厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・適正普及活動におけるさらなる生産性向上を求めています。また、上市される新薬の中心が、より医薬品情報の専門性の高いスペシャリティ医薬品になるなかで、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たな適正普及支援を必要としております。

なお、製薬企業のMRの削減が一層進む状況の中、当社グループの医薬DX事業の各種サービスに対する製薬企業からのニーズの高まりが続いており、特にCSO事業の受注が引き続き増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高2,794百万円（前年同四半期比4.8%増）、売上総利益1,723百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益641百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。一方で、先行投資における投資事業組合運用損を計上した結果、経常利益547百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却益を計上したため、428百万円（前年同四半期比37.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①医薬DX事業

当事業においては、既存サービスの販売体制強化などの取り組みを進めるなか、医薬DX事業の売上高は2,493百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は954百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

②メディカルプラットフォーム事業

当事業においては、医師向け転職支援サービス「キャリア」等の売上高は140百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。一方、医療教育動画及びその他サービスについては、売上高は160百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

この結果、メディカルプラットフォーム事業の売上高は300百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業利益は86百万円（前年同四半期比281.7%増）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得及び維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第1四半期連結会計期間末の医師会員数は23万6千人（前年同四半期比4.5%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ826百万円減少の13,286百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ599百万円減少の9,865百万円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産283百万円、現金及び預金242百万円、前払費用20百万円の減少によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ227百万円減少の3,420百万円となりました。これは主に、投資その他の資産199百万円、のれん36百万円の減少によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ410百万円減少の2,372百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ412百万円減少の2,106百万円となりました。これは主に、未払法人税等317百万円、買掛金59百万円の減少によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1百万円増加の266百万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ416百万円減少の10,913百万円となりました。これは主に、自己株式313百万円の増加、利益剰余金96百万円の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、2025年2月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,360,989	7,118,930
売掛金及び契約資産	2,586,693	2,302,704
電子記録債権	6,325	2,860
棚卸資産	19,368	27,691
前払費用	361,824	341,530
その他	135,208	77,240
貸倒引当金	△5,700	△5,700
流動資産合計	10,464,710	9,865,257
固定資産		
有形固定資産	194,947	204,704
無形固定資産		
のれん	619,525	582,796
その他	91,184	90,097
無形固定資産合計	710,709	672,894
投資その他の資産	2,742,659	2,543,250
固定資産合計	3,648,316	3,420,849
資産合計	14,113,026	13,286,107
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,597	93,560
1年内返済予定の長期借入金	31,148	29,424
未払法人税等	465,563	147,716
前受金	120,044	181,039
ポイント引当金	921,824	881,700
その他	827,021	772,631
流動負債合計	2,518,198	2,106,070
固定負債		
長期借入金	99,872	90,348
退職給付に係る負債	18,474	20,193
資産除去債務	51,963	51,909
役員株式給付引当金	81,270	86,688
その他	13,569	17,382
固定負債合計	265,148	266,521
負債合計	2,783,347	2,372,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,405,636	2,405,636
資本剰余金	3,138,641	3,138,641
利益剰余金	7,087,285	6,990,619
自己株式	△1,507,632	△1,821,364
株主資本合計	11,123,931	10,713,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,334	1,537
その他の包括利益累計額合計	19,334	1,537
新株予約権	0	0
非支配株主持分	186,413	198,444
純資産合計	11,329,679	10,913,514
負債純資産合計	14,113,026	13,286,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,667,149	2,794,532
売上原価	1,087,003	1,070,620
売上総利益	1,580,145	1,723,912
販売費及び一般管理費	1,034,894	1,082,082
営業利益	545,251	641,829
営業外収益		
受取利息	1,213	4,019
持分法による投資利益	11,055	—
為替差益	8,442	—
雑収入	713	2,599
営業外収益合計	21,423	6,618
営業外費用		
支払利息	161	354
持分法による投資損失	—	13,705
為替差損	—	7,756
固定資産除却損	—	493
投資事業組合運用損	83	76,433
消費税差額等	2,211	1,079
自己株式取得関連費用	—	941
雑損失	591	473
営業外費用合計	3,047	101,238
経常利益	563,627	547,209
特別利益		
投資有価証券売却益	—	73,680
特別利益合計	—	73,680
特別損失		
投資有価証券評価損	48,018	—
特別損失合計	48,018	—
税金等調整前四半期純利益	515,608	620,889
法人税、住民税及び事業税	148,458	133,878
法人税等調整額	36,731	46,735
法人税等合計	185,190	180,614
四半期純利益	330,418	440,274
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,583	12,031
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,835	428,243

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	330,418	440,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,516	△17,796
その他の包括利益合計	24,516	△17,796
四半期包括利益	354,935	422,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,351	410,446
非支配株主に係る四半期包括利益	19,583	12,031

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

会計方針の変更

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	19,751千円	21,237千円
のれんの償却額	46,879	36,728

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬DX事業	メディカル プラット フォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,401,748	265,400	2,667,149	—	2,667,149
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,400	500	1,900	△1,900	—
計	2,403,148	265,900	2,669,049	△1,900	2,667,149
セグメント利益	945,623	22,701	968,325	△423,074	545,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△423,074千円は各報告セグメントに配分していない全社費用 (報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費) であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬DX事業	メディカル プラット フォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,493,693	300,838	2,794,532	—	2,794,532
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	217	—	217	△217	—
計	2,493,910	300,838	2,794,749	△217	2,794,532
セグメント利益	954,151	86,644	1,040,795	△398,965	641,829

(注) 1. セグメント利益の調整額△398,965千円は各報告セグメントに配分していない全社費用 (報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費) であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。